

1 目指す学校像

本校の教育目標である「学問を愛し、知性を高める」「体力の向上に努め、健全な心身を養う」「人権を尊重し協調及び互助の精神を養う」「地域理解を深め、国際的視野に立って社会に貢献する人間の育成を図る」の具現化に向けて、知・徳・体の調和のとれた社会に貢献できる人を育成し、文武両立を図る学校を目指す。

(1) 「チーム雪谷」

生徒・保護者・同窓会・地域・教職員が一つの“チーム”となって団結し、生徒一人一人にきめ細かな指導を行い、すべての生徒の進路希望を実現できる学校

(2) 「自ら学び考え表現する」

生徒一人一人が家庭学習で十分な予習・復習を行い、知的探究心を養い、学習の意義を理解し、自ら学び考え、表現する力を身に付ける学校

(3) 「努力の汗を感動の涙に」

生徒全員が本気で学校行事や部活動に取り組み、達成感や成就感を得て、学校と自分自身に誇りをもてる学校

(4) 「地域社会に貢献」

地域に根差した教育活動の推進し、奉仕活動や生徒会活動・部活動を通して連携を深め、社会に貢献できる人材を育成する地域に信頼される学校

2 中期的目標

基礎・基本的な学力を入学時から向上させ「進学力の雪谷」として上級学校への進学実績の向上を目指す。

- (1) 応用力、創造力の育成を図る。
- (2) 自主的実践的な態度を育成する。
- (3) 進路指導の充実を図る。
- (4) 高い規範意識と強い精神力を育てる。
- (5) 体力の向上や心身共に健康な生徒を育成する。
- (6) 自助・共助の精神を育成する。
- (7) リーダーとしての資質を育成する。
- (8) 部活動の活動内容の充実や実績向上を図る。
- (9) 応募倍率の向上と安定を図る。
- (10) ライフ・ワーク・バランスの実現

3 教育活動の目標

(1) 確かな学力と豊かな教養

① 基礎・基本を重視した学力の向上を推進するために、「ICT活用の研究」や校内授業研究を実施し、家庭での学習習慣を定着させる指導するとともに、授業改善を通して分かりやすい授業実践を行い、授業の質的向上を図る。

② 読書を通して、考える習慣、豊かな感性や情操を身に付けさせるとともに、言語活動の充実を図る。

③ 自主学習の習慣と、外部機関と連携した補習を実施し、学習支援の充実を図る。

(2) 主体的な学校行事と母校愛の育成

① 雪谷高校生としてあるべき姿を考えさせるとともに、身に付けるべき規範意識を明示し、全教員で生活習慣の確立をサポートすることを通して、規律ある生活の確立を図る。

② 生徒会、委員会活動、学校行事に一生懸命取り組むことで、母校愛と帰属意識を育成する。

- ③ 地域に開かれた学校を推進するとともに、ボランティア、非常時における意識、支援体制を考えさせ、近隣の学校及び関係機関等と連携を図る。

(3) 希望の進路実現

- ① 「総合的な学習・探究の時間」、教科「人間と社会」やホームルームの計画的な指導や、探究活動を推進することで、主体的に考え、行動、表現する力を育成し、キャリア教育の充実を図る。
- ② 3年間を見通した教科指導と面談指導等を行い、一般入学試験で上級学校へ挑戦できる進路指導及び受験対策の充実を図る。

(4) 思いやりと部活動の活躍

- ① 年齢の異なる人との交流やセーフティ教室等を通して自他を尊重する心の育成をする。
- ② 校内研修の充実といじめアンケート・体罰防止アンケートを活用し、体罰防止といじめ0を実現する。
- ③ 各部の目標を明確にし、チームの大切さを主軸にした意図的・計画的な指導を行うことで部活動の活性化を図る。

(5) その他

- ① ホームページを活用して、本校の教育活動を発信し、学校説明会・学校見学会をより充実させる。
- ② 教職員が自らの家庭や自身の時間を大切することで、人生を楽しみながら仕事ができる職場にする。

4 今年度の重点目標と方策

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止を引き続き行いながら、学校行事や部活動等の教育活動の充実を図ることで、生徒の主体性と健全な心身を養う。
- 生徒一人一台端末の導入に際し、すべての教科において端末を有効的に使った授業を実践する。
- 総合的な探究を探究委員会が中心となって全教職員が組織的に取り組み、すべての教科において探究活動を取り入れた授業を実践する。

(1) 組織運営

- ① 全教職員の共通理解に基づき、全ての教育活動において全教職員の力を結集して課題解決に臨み、主幹教諭・主任教諭、分掌主任を中心とした組織的な学校運営を推進する。
- ② 各分掌における仕事の効率化を図るために、分掌組織のマネジメントサイクル（P D C A）を取り入れて効果的な進行管理と学校運営を行う。
- ③ 若手教職員等を対象に、主幹教諭や主任教諭の経験を活かした職場内O J Tを推進する。特に、教員相互の授業参観を通して学び合う機会を増やし、若手教職員等の育成を図る。
- ④ ライフ・ワーク・バランスの実現に向けて仕事の効率化や進め方の改善に努め、教職員の仕事と家庭の両立を応援する。

(2) 学習指導

- ① 基礎・基本を重視した学力の向上、アクティブ・ラーニングなど主体的・対話的で深い学びに向けた授業の改善に努める。
- ② PC 端末を有効的に活用した授業を定期的実施することで、探究活動を促進させる。
- ③ 週末課題等を通して家庭学習時間を、学年+1時間を確保する指導の工夫を行い、家庭学習の定着を図る。
- ④ 模試などの客観的データを各教科で分析し、指導計画に取り入れ実践することで、学力向上を図り、生徒の希望の進路を実現させる。
- ⑤ 日常の個別指導や補習、長期休業日中の講習（基礎と受験対策）を計画的に実施し、生徒への学習指導の強化に努める。

- ⑥ 朝の読書活動、読書強化月間、図書館の利用促進などを通して言語教育活動を推進する。
- ⑦ 政治・経済において、政治や選挙について正しい知識・理解や公正な判断力など政治的教養を育む主権者教育を推進する。また、1学年総合的な探究の時間において、教科「人間と社会」を実施する。

(3) 生活指導

- ① 挨拶の励行、授業規律の徹底、身だしなみや交通規則などを守らせることを通して、ルール・マナーと規範意識を身に付けさせる。
- ② 生徒会等を中心とした体育祭、文化祭及びクラスマッチの運営を通して、帰属意識を高める。
- ③ 全校応援及びその準備を通して、母校愛を育成する。
- ④ 雪谷高校生としてあるべき姿を考えさせるとともに、身に付けるべき規範意識を明示し、全教員で生活習慣の確立をサポートすることを通して、規律ある生活の確立を図る。

(4) 進路指導

- ① 生徒の進路実現に向けて、3年間の「キャリア教育推進計画(学習・生活・進路)」を計画的に実施する。また、キャリア教育の充実を図るため、学習・生活・進路の3領域について、総合的な進路指導を行い、生徒個々の進路希望の実現に取り組む。
- ② 学年との連携強化を図った進路指導部を中心とした進路指導を組織的に推進する。
- ③ 職業的自立に向けた教育プログラムの実施と主権者教育の充実を図ることを通して、社会人・職業人として生活していくために必要な能力を身に付けさせる。
- ④ 探究活動を推進することを通して、自ら考え表現する力を育成するとともに、上級学校でのより深い学びへと繋げていく。
- ⑤ 年二回の全員面接を通して、生徒の心の変化を捉えるとともに生徒の目標を明確にさせる。
- ⑥ 進路ガイダンス、補習・講習、受験スタートアップ講座と高大連携による出張授業の実施を通して、学問の魅力を伝え、上級学校への進学意欲を喚起する。
- ⑦ スタディキャンプや勉強合宿を通して、学習計画の作成や自主学習の重要性を認識させ、継続的な学習習慣を定着させる。

(5) 特別活動・部活動

- ① 生徒が主体となる体育祭及び文化祭、生徒が主体的に活動する委員会活動に向けた工夫を図る。
- ② 部活動の参加率の一層の向上と活動内容の質の向上に努める。そのために、教員が生徒の活動場面に立ち会い、指導を行う場面をもち、活動の成果を向上させる。指導に当たっては、体罰や不適切な指導にならないよう、充分に人権に配慮した指導を行う。
- ③ 部活動に参加することを通して、チームや人を大切にする心を育むとともに、目標に向かい、結果を追求する精神を育成する。
- ④ 「スポーツ特別強化校」、「Sport-Science Promotion Club」等を活用することを通して、部活動の活性化と技術を向上させる。

(6) 安全・健康指導

- ① 成功体験を積むことを通して自己肯定感を高めさせる。
- ② 保健講話を活用して、自身の体を大切にすることを理解させる。
- ③ 教員の校内研修、SCとの全員面接、ふれあい月間を通して、体罰・いじめの防止をする。
- ④ セーフティ教室、薬物乱用防止教室、ネット被害防止指導、災害避難訓練等の防災教育、食育指導等を実施し、生徒の安全と健康、防災に対する意識を高める。
- ⑤ 地域関係機関との連携を図り、生徒の登下校時の安全確保に努める。
- ⑥ 自転車に関する交通安全教育の実施を通して、交通規則の遵守、交通マナーの向上を図り、自他の生命を尊重させる。

(7) 募集・広報活動

- ① 公開講座の実施及び施設開放を行うことを通して、地域との連携を強化する。
- ② 学校ホームページ、公式Twitter等を活用して情報を発信するとともに、生徒の母校(中学校)訪問を実施することを通して、本校の教育活動をPRする。また、中学校等からの本校への要望について情報収集し、中学生等に学校説明会等で情報を提供する。
- ③ PTA、同窓会、学校運営連絡協議会等を通じ、本校への期待、意見や要望を聞き取り、教

職員及び生徒一丸となって反映させる。

④ 学校ホームページの更新を定期的実施し、学校ホームページの充実を図る。

(8) 地域との連携

- ① 朝の地域清掃や地域ボランティアを通して、地域に貢献する心を育成する。
- ② 地域や近隣の学校と連携することを通して、自助・共助の精神を育む。

(9) 施設設備管理・経営企画室運営

- ① 運動施設の安全管理の徹底、校内設備の定期的な点検を計画的に行う。
- ② 自律経営推進予算の執行状況について適切に管理する。

5 数値目標

(1) 学校運営

- 若手教員学習会 10回以上
- 研究授業 20回以上
- 校内研修 3回
- PDCA会議 3回

(2) 学習指導

- 生徒の自主学習時間 学年＋1時間以上
- 長期休業日中講習 60講座以上
- 授業満足度 80%以上
- 英語検定（実用英語検定） 準2級以上 80名以上
- GTZ（学力基準）各教科 A1 10人以上
B1 120人以上

(3) 生活指導

- 遅刻生徒（1日あたり） 8人（0.01%）
- 特別指導対象件数 0件

(4) 進路指導

- 4年制大学進学実績（現役合格者） 80%以上
- 大学入学共通テストの受験者数 90%以上
- 大学入学共通テスト各教科の平均点 全国平均以上（全科目）
- 国公立大学、難関大学合格者数 25名以上
- GMARCH合格者数 80名以上
- 進路決定率 90%以上

(5) 特別活動・部活動

- 部活動加入率 95%以上
- 特別活動満足度 90%以上
- 部活動満足度 90%以上
- 関東大会以上の大会への参加 4部

(6) 体力向上

- 体力テスト合計得点 全国平均以上

(7) 募集・広報活動

- ホームページ更新 250回以上
- 応募倍率 推薦 3倍以上
学力選抜 1.5倍以上
- 学校見学・学校説明会参加者 5,000名以上

(8) 経営企画室経営

- 第3四半期、予算執行率 90%以上